

# 風しんにご注意ください！

## 風しんとは

- 風しんウイルスによって引き起こされる感染症で、患者の飛まつ（唾液を含んだしぶきなど）により感染します。
- 主な症状は発しん、発熱、リンパ節の腫れなどです。
- 潜伏期間は感染してから2～3週間と長く、発しん出現の1週間前後は他の人に感染させる可能性があります。
- **妊娠初期の妊婦が感染すると、赤ちゃんに障がいが生じる可能性があり、妊娠中の方やその周囲にいる方は、特に注意が必要です。**



### ※先天性風しん症候群について

妊娠20週頃までの女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れなどの障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。

これらの障がいを「先天性風しん症候群」といいます。

## 予防のポイント

### ◎風しんの予防や拡大防止には、予防接種が効果的です。

- 定期接種の対象となっている方は、必ず予防接種を受けましょう。
- 風しんにかかったことがなく予防接種歴がない または 免疫が十分だと確認されていない方は、予防接種をご検討ください。

※ 風しんの予防接種にかかる費用の助成を市町村で行っています（一部市町村を除く）。詳しくは、お住まいの市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。

## 「風しんかな？」と思ったら

- 発しん、発熱などの症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。
- 受診の際は、事前に医療機関へ連絡し、指示に従ってください。
- 医療機関受診の際には、マスクを着用する・咳エチケットを守るなど、感染を広げないように注意してください。
- 公共交通機関の利用、妊婦との接触は避けましょう。

